

文部科学大臣優秀教職員表彰ニュース

令和4年2月発行 京都市教育委員会 教職員人事課

文部科学省では、平成18年度から学校教育において教育実践等に顕著な成果を上げている全国の教職員を表彰し、意欲及び資質能力の向上に資することを目的に「優秀教職員表彰」が行われており、第15回目となる今年度は全国から755名、52団体の優秀な教職員が表彰され、本市からは、**7名（小3名・中2名・支援1名・養護教諭1名）及び1団体**が受賞しました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大を受け、オンライン（代表者1名のみ対面で参加可能）で表彰式典が執り行われ、受賞者は今後の教育実践等への意欲をさらに高めました。

受賞者の皆様



岩倉北小学校
松村 一也 教諭



二条城北小学校
光嶋 花英 教諭



下京雅小学校
中市 雄哉 教諭



凌風小中学校
長井 秀樹 教諭



久世中学校
北川 喜美 教諭



東総合支援学校
初田 由利子 教諭



花背小中学校
阿部 宣恵 養護教諭



北総合支援学校 Team 業務改善
(北総合支援学校)



「文部科学大臣優秀教職員表彰」を受賞された7名と1団体の皆様、誠におめでとうございます。皆様が、多様化・困難化する教育課題に対して、一人一人の子どもを徹底的に大切にするという信念の下、全力で取り組み、着実に成果を上げられていることに心から敬意と感謝の意を表します。新型コロナウイルス感染症の影響で子どもたちの学びの環境は大きく変化しています。学校・幼稚園が社会のセーフティネットとしての役割を果たし、子どもたちが、その生まれ育った環境に左右されず、将来に向かって希望を持って歩めるよう、受賞者の皆様はもとより、全ての教職員の皆様が、今後ますます職務に精励され、素晴らしい教育実践を積み重ねられますことを御期待申し上げます。

京都市教育長 稲田 新吾